

# 国際音楽祭NIPPON2022

芸術監督：諏訪内晶子

陸前高田市民文化会館自主企画イベント

## ~諏訪内晶子&フレンズ~

### コンサートin陸前高田

(東日本大震災復興応援)



諏訪内晶子  
(ヴァイオリン)

INTERNATIONAL  
MUSIC FESTIVAL  
NIPPON

2022.3.6 **SUN** 13:30 開場  
14:00 開演  
【終演 16:00 予定】

会場：陸前高田市民文化会館「奇跡の一本松ホール」

#### ○プログラム

モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための  
二重奏曲 ト長調 K.423

テリー・ライリー：弦楽四重奏曲 G-ソング(1980)

フランク：ピアノ五重奏曲 へ短調

©TAKAKI KUMADA

#### 前売りチケット販売

2022年2月12日(土) 午前9時～  
陸前高田市民文化会館

大人：2,000円(税込) 小中高生：500円(税込)

※未就学児の入場不可

※座席は、概ね一般席400席・車イス席8席を予定しており、受付順に販売します。なお、座席の選定はできませんので、あらかじめご了承ください。

#### 【ご来場の皆様へお願い】

●ご来場の際は、マスクの着用、手指消毒、検温、「入館者カード」の記入にご協力をお願いします。なお、当日、体調の悪い方及び37.5℃以上の発熱がある方のご来場はご遠慮願います。

●座席は、一定の距離を確保した上で、全席指定とします。

●新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言地域等からの入場制限や、やむを得ず中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

主催：陸前高田市民文化会館 共催：岩手日報社／IBC岩手放送 後援：東海新報社 協力：ユニバーサルミュージック  
企画制作：ジャパン・アーツ 制作協力：岩手県文化振興事業団

【お問い合わせ】陸前高田市民文化会館 TEL 0192-22-9666 9時～17時(第3火曜日を除く)

特別協賛：

 豊田自動織機

 TOYOTA

 豊田通商

 AISIN

# ～諏訪内晶子&フレンズ～コンサート in 陸前高田

(東日本大震災復興応援)

## 演奏者プロフィール *Performer profile*



©TAKAKI KUMADA

### 諏訪内 晶子 (ヴァイオリン/国際音楽祭NIPPON2022 芸術監督)

Akiko Suwanai, Violin / Artistic Director of International Music Festival NIPPON 2022

1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、デュトワ、サヴァリッシュらの指揮で、ボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと共演。BBCプロムス、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン、ルツェルンなどの国際音楽祭にも多数出演。2012年、2015年、エリザベート王妃国際コンクールヴァイオリン部門及び2019年チャイコフスキー国際コンクール審査員。2012年より「国際音楽祭NIPPON」を企画制作し、同音楽祭の芸術監督を務めている。デッカより14枚のCDをリリース。

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。文化庁芸術家在外派遣研修生としてジュリアード音楽院本科及びコロンビア大学に学んだ後、同音楽院修士課程修了。国立ベルリン芸術大学でも学んだ。

使用楽器は、日本にルーツをもつ米国在住のDr. Ryuji Uenoより長期貸与された1732年製作のグアルネリ・デル・ジェズ「チャールズ・リード」。



©Philipp Plum

### マーク・ゴトーニ (ヴァイオリン)

Mark Gothoni, Violin

フィンランドを代表するヴァイオリニストの1人。21歳でブラームス国際コンクールに上位入賞しデビュー。以来世界各国でソリスト、室内楽奏者として精力的に活動。母国フィンランドでは1998-2011年ラウマ音楽祭総監督、2001年よりサボンリンナ・ミュージック・アカデミーの室内楽部門監督を務める。2018年第1回「オーパス・クラシック(The OPUS KLASSIK)アワード 室内楽部門受賞。活発な演奏活動の傍らで、ベルリン芸術大学ヴァイオリン科主任教授として後身の指導にも情熱を傾けている。



### 鈴木 康浩 (ヴァイオリン)

Yasuhiro Suzuki, Viola

読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者。5歳よりヴァイオリンを始め、桐朋学園高等学校音楽科を経て桐朋学園大学卒業。卒業後ヴィオラに転向。第7回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部第1位ほか受賞多数。

2001年よりドイツのカラヤン・アカデミーで研鑽を積み、ベルリン・フィルの契約団員となる。またサイトウ・キネン・フェスティバル、宮崎国際音楽祭など多方面で活躍を続けている。



©Nikolaj Lund

### イエンス=ペーター・マインツ (チェロ)

Jens-Peter Maintz, Cello

1994年ミュンヘン国際音楽コンクールにおいてチェロ部門17年ぶりの優勝者となる。2006年より、クラウディオ・アバドの招聘をきっかけにルツェルン祝祭管弦楽団のソロ・チェリストを務めている。これまでにアシュケナーズ、プロムシュテット、ヤノフスキ、ウェルザー=メスト等の指揮者と、ベルリン放送響、シュトゥットガルト放送響等のオーケストラと共演している。2004年よりベルリン芸術大学の教授を務める。

使用楽器は1697年製のジョヴァンニ・グランチーノ「Ex.セルヴェ」。



©HIDEKI NAMAI

### 阪田 知樹 (ピアノ)

Tomoki Sakata, Piano

2016年フランツ・リスト国際ピアノコンクール(ハンガリー・ブダペスト)第1位、6つの特別賞。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール最年少入賞。

ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、聴衆賞等5つの特別賞、クリエヴァンド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッシンジャー国際ピアノオリンピック第1位及び聴衆賞。

東京藝術大学を経て、ハノーファー音楽演劇大学ソリスト課程ピアノ科に在籍。コモ湖国際ピアノアカデミーでも研鑽を積む。2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。